

海外便り

エチオピア通信 (10)

中山 実

1. はじめに

近頃では、エチオピアに旅行に来られる日本人が増えてきているように感じます。しかしながら、アジスアベバには、日本人でも快適に過ごせるホテルがあるのですが、地方では???ぐらいのレベルのホテルばかりです。それでも観光に来られるのですから、よっぽど興味があるのか、エチオピアが魅力的なのでしょう。まあ、世界遺産も数多くありますし。

さて、これから来られるかもしれない日本人のために、エチオピアの交通事情（特にアジスアベバ）についてお知らせします。

アジスアベバ市内の交通は、自家用車の他にバス・タクシーがあります。勿論、唯一の鉄道も隣国ジブチまで通じています。近頃では、50cc程度の自動2輪車、自転車をよく見かけます。

ジブチまでの鉄道は、毎日14時にアジスアベバを出発しています。ジブチまで直通はなく、途中の街、ディレダワで乗換えとなります。治安はかなり悪いようで、日本人は誰も使用していないのではないのでしょうか。オレンジと黄色で横にライオンの絵が書いてあるバス（写真一）は、



写真一 長距離バス



写真二 タクシー

アジスアベバ市内を中心とし、少しばかり郊外に出るものです。治安があまりよろしくないようでした、エチオピア人に、「君は絶対乗ってはいけない。スリが多いからね」と言われた事があります。

運賃は、25セント（≒3円）。この市内バスの他に、エチオピアの各都市を結ぶバスも運行されています。これは、統一されたカラーのバスでなく、いろんな形がありますが、バスなので、あれが長距離バスかと直ぐにわかります。ちなみに運賃ですが、最長距離である1,024km（世界遺産のあるアクスムまで）で105.50ブル（≒1270円）です。

タクシーは青と白の柄の車でして、バンタイプの乗合タクシー（ミニバス）（写真二）とセダンタイプの普通のタクシーの2種類あります。乗合タクシーは路線が決まっていますし、「ボレ、ボレ（ボレ通り付近行き）」等のように行先の地名を車掌が叫んでいます。

初乗りは、55セント（≒7円）程度でして、ガソリン価格に変動して時々変わるようですが、ぼられたりする事はないようです。また、路線上であればどこでも降りしてくれますが、英語が通じません。セダンタイプのものは、普通のタクシーでして、行先を告げて、メーターがないので値段交渉をしてから乗ります。外国人と言う事で高い値段を吹っかけてくる事もありますが、根気良く値段交渉して値切る事は出来ます。他には、旅行会社のタクシーもありますし、レンタル会社で車を借りる事も出来ます。

どうぞ、エチオピアに遊びに来て下さい。

2. OJT 訓練の進捗（後編）

前編（2月号）では、工事の計画作成についてお話しさせて頂きましたが、今回は、ようやく建設機械を使用しているOJTの開始です。

構内の舗装工事がメインですが、その前に、新たに側溝を設置する必要がありました。理由は、側溝工事と側溝工



写真-3 仮設道路建設前



写真-4 側溝工事前



写真-5 グレーダ作業



写真-6 建設機械による掘削



写真-7 グレーダ作業終了

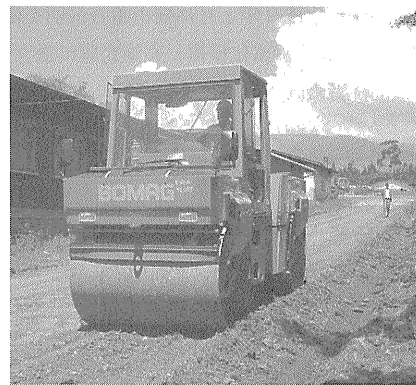


写真-8 転圧作業（振動ローラ）

事を行うと構内の往来が遮断されるためです。まずは、構内交通の確保のための仮設道路建設工事と側溝工事の2工事を行う事にしました。両工事共に、工期の大幅な遅れ（予定工期は2週間であったが、実際は2ヵ月）はありましたが、技術的な大きな問題は発生しませんでした。いや、発生しなかったのではなく、エチオピアの工事のやり方に慣れてしまったのかも知れません。

今回は、写真-3～写真-8を中心に、工事の様子をお届けしたいと思います。

仮設道路建設、側溝工事共に、何とかやり遂げました。これから、メインの舗装工事を行う予定なのですが、土質に問題があり、現在、土質試験を実施中です。

—なかやま みのる JICA 派遣専門家、国土交通省近畿地方整備局—

建設機械図鑑

本書は、日本建設機械要覧のダイジェスト版として、写真・図版を主体に最近の建設機械をわかりやすく解説したものです。建設事業に携わる方々、建設施工法を学ばれる方々、そして建設事業に関心のある一般の方々のための参考書です。

A4判 102頁 オールカラー 本体価格2,500円 送料600円

社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8（機械振興会館） Tel. 03(3433)1501 Fax. 03(3432)0289